

ホクチアザミ *Saussurea gracilis* Maxim.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 4、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 13。西日本系の草地性植物で、愛知県は分布域の東限に近い。

【形態】

多年生草本。茎は細く、上部で多少分枝し、高さ 20~40cm になる。根出葉には長い柄があり、葉身は長 3 角形、長さ 6~11cm、先端は鋭くとがり、基部は心形、表面は緑色、裏面は綿毛が白くなる。茎葉は互生し、下部のものは柄があるが、上部のものは小さく、無柄となる。花期は 8~10 月、頭花は茎の先端に数個つき、紅紫色、総苞は長さ 13~16mm、幅 8~14mm で、紫色をおびる。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：6 設楽西部 (芹沢 56851, 1990-9-3)、7 設楽東部 (小林 60335, 1996-10-19)、8 鳳来北東部 (小林 60341, 1996-10-19)、11 作手 (小林 54638, 1994-10-16)、13 豊川 (小林 48417, 1993-10-6)。西：19 旭 (芹沢 63818, 1992-9-26)、20 足助 (芹沢 78964, 2003-10-4)、21 下山 (芹沢 63702, 1992-9-24)、22 小原 (伊藤泰輔 267, 1993-10-21)、24 豊田東部 (小林 62698, 1997-10-20)。2 豊根と 3 東栄にもあるという (小林 2006)。三河山地に点在しているが、他の多くの草地性植物と異なり、丘陵地には見られない。4 津具 (天狗棚, 鈴木 学 2240, 1983-9-16)、5 稲武 (野入川, 芹沢 38681, 1983-10-14)、10 鳳来北西部 (恩原竜頭山, 鳥居喜一 8624, 1954-10-24, HNSM) で採集された標本もある。

要配慮地区図



【国内の分布】

本州 (静岡県以西)、四国、九州。

【世界の分布】

日本および朝鮮半島。

【生育地の環境／生態的特性】

日当たりのよい山地の草原に生育する。愛知県では、落葉広葉樹林の林縁や明るい林内に多い。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在しているが、群生することはない。二次林の生長につれて林内が暗くなり、著しく衰退している。

【保全上の留意点】

二次林を適度に伐採し、さまざまなステージが混在する状態を維持することが必要である。

【特記事項】

和名は、葉裏に火口に使うような白色の綿毛が多いからである。

【引用文献】

小林元男, 2006. 北設楽の植物 p.210. 愛知県林業試験研究推進協議会, 新城.

【関連文献】

保草本 I p.25, 平草本III p.222, 平新版 5 p.260, SOS 新版 p.55,57.